

祝 辞

校長先生方におかれましては、日ごろから学校の最高責任者として、教育の現場で指導的役割を果たされ、また、未だ新型コロナウイルスの収束の見通しが立たない中、子供たちの学びを保障し、安心して過ごすことができる学校づくりを進められるなど、全ての子供たちの成長のために、多大なる御尽力をいただいておりますことに対しまして、心より敬意を表するとともに、厚く御礼申し上げます。



さて、学校現場においては、新しい学習指導要領が小学校では令和二年度から、中学校では本年度から全面実施されました。こうした中、本県においては、本年二月に第四次愛知県教育振興基本計画である「あいちの教育ビジョン二〇二五」を策定いたしました。「自らを高めること」と「社会の担い手となること」を基本とし、ふるさとあいちの文化・風土に誇りをもち、世界的視野で主体的に深く学び、かけがえのない生命や自分らしさ、多様な人々との存在を尊重する豊かな人間性と「知・徳・体」にわたる生きる力を育むあいちの教育を進めることを基本理念としています。

そのような中、新型コロナウイルス感染拡大により、社会の在り方が大きく変化し、学校教育におけるICT機器の整備が急速に進展してきました。変化の激しい、先が予測しにくい時代を生き抜く子供たちを育むため、中央教育審議会は、令和三年一月に「令和の日本型学校教育の構築を目指して」の答申を取りまとめました。この答申では、「一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる」ために、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の重要性を提言しています。

こうした「令和の日本型学校教育」では、全ての子供たちの可能性を引き出すことを目指しています。子供たち個々の興味・関心等に応じた異なる目標に向けて学習を深め、広げ、その中で子供たち自身が自らどのような方向性で学習を進めていくとよいか考えることも大切です。

愛知県では、子供たちのきめ細かな教育を推進するため、小学校における三十五人学級を国に先がけ、本年度から三年生に広げております。

校長先生方におかれましては、その豊かな見識と、リーダーシップを十分に発揮していただき、学校経営者として先生方の力を結集して、これからの日本社会を担う子供たちを教え導いていただきたいと思っております。そして、愛知の教育の更なる発展に向け、より一層御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年5月

愛知県知事 大村 秀章